

# 朝日庄内の風

令和8年6月5日 第37号  
朝日庄内森林生態系保全センター

## CONTENTS

- 新年度が始まりました！ 職員よりご挨拶 …… 2
- 西荒瀬保育園 森林体験活動を実施しました … 4
- 朝日自然塾 きのこの植菌体験 ……………… 6
- 高館山 巡視活動 ……………… 7
- コラム：魅惑の野生ラン ……………… 8



スギ林内に群生するクマガイソウ

2025.5.18 山形県 村山地方（撮影：有本 実）

# 新年度が始まりました！ 職員よりご挨拶



きのこ植菌体験のサポート！

もりかわ ひでかず  
所長 森川 秀和

このたび4月1日付け人事異動で、朝日庄内森林生態系保全センターへまいりました森川と申します。

山形県内での勤務は初めてとなります。朝夕の通勤時には、月山、朝日連峰、烏海山そして、庄内平野の田園風景を眺めながら日々季節の変化を感じながら通勤しております。また、庄内地方のいろいろな文化に触れることを楽しみにしています。

さて、これまで携わってきた業務は荒廃した溪流に治山ダムを作ったり、山が崩れたところを直したり、木材を売ったりする業務が長く、当センターが

行っている朝日山地森林生態系保護地域の保全管理や森林環境教育は初めての経験となります。分からないことだらけで日々勉強中ですが、関係する人との繋がりを大切にし、業務を遂行してまいりたいと思いますので、ご支援ご協力をお願いします。



お、笹の花だ！と激写中

ありもと みのる  
生態系管理指導官 有本 実

人生初の山形県民となり3年目を迎えました、有本と申します。今年は春先から、庄内地方の山の登り残しが無いように、この2年間で行きそびれていた低山を一日一座ずつ丁寧に登っています。これがコシノコバイモか！こんなところにサルメンエビネが！と身近な里山で日々新たな発見があり、山形も良い所だな、としみじみ実感しています。カメラマン役なので本誌に私の顔が載ることは稀ですが、山中で見かけましたらお声がけください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



時には園児達の先生役に

あべ しゅんすけ  
主任主事 安部 俊介

昨年10月に着任いたしました、安部と申します。

昨年度は、朝日山地の雄大な自然の中で、動植物の名前を覚えたり、栃の実などの食文化に触れたり、五感を使って充実した時間を過ごすことができました。

本年度も、総務・経理担当として責任感を持ち、丁寧に業務に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



西荒瀬保育園周辺に群生していたナルコユリ



リスさんがクルミを食べると…！

非常勤職員

さいとう あけみ

齋藤 明美

今年度より、非常勤職員としてお世話になっております、齋藤明美と申します。

旧朝日村の自然に囲まれた環境で育ち、幼いころから山を身近に感じてきました。最近では、例えばきのこ一つをとっても奥深さを感じる事が多く、改めて自然の面白さや魅力を実感しております。どうぞよろしくお願いいたします。



満開を迎えたフジの花

## 退任のご挨拶

三陸中部森林管理署長 岩間 由文

4月1日付けで三陸中部森林管理署に異動となりました。

庄内には、庄内森林管理署に1年、朝日庄内森林生態系保全センターに1年の勤務でしたが、多くの皆様に大変お世話になりました。この間、朝日山地をはじめとする、山形の亜高山帯から海岸に至る多様な森林を見させていただきました。その中で、大切にしてきた美しい森林が失われていくことに無力感を感じた一方で、森林は自らの力で又は人が手を貸すことで回復し、再生することをこの地で改めて学びました。

今後とも、森林の保全活動等にご理解とご支援を賜りますようお願いするとともに、関係された皆様へのお礼とさせていただきます。

玉川 加奈

非常勤職員の玉川 加奈です。令和7年4月から採用され1年が経過いたしました。このたび夫の転勤に伴い、退職する運びとなりました。

事務職にとどまらず、みどりの保育園をはじめとした各種イベントへの参加や、本誌においては編集や原稿執筆を担当させていただくなど、数多くの貴重な経験をさせていただき、短い期間ではありましたが私の人生においては大きな糧となる1年間を過ごすことができました。この場をお借りして、お世話になった皆様に心より御礼申し上げます。



クロマツ林に植えたコナラ(JTの森 鶴岡)



実物大のタキタ回ウとともに

# 西荒瀬保育園 森林体験活動を実施しました

## きのこの駒打ち体験

当センターでは、『みどりの保育園推進事業』の一環として、西荒瀬保育園（酒田市）の年長組の園児のみなさんと年3回の森林体験活動を行っています。

第1回目の活動として、4月22日に『きのこの駒打ち体験』を行いました。きのこの話を聞いてから、楢木にドリルで穴あける体験をしました。大きな音に驚きながらも興味津々の子どもたち。今回は20本の楢木にしいたけの駒を約1000個、打ち込みました。駒は木の表面と同じ高さになるように入れますが、木はでこぼこしているため、最後まで打ち込むのはなかなか大変です。子どもたちは協力し合って、木が転がらないように押さえたり、力持ちのお友だちが難しい所を手伝ってくれたり、一生懸命取り組んでいました。中には「自分でやる！」と、最後まであきらめずに挑戦している姿もありましたよ！

歴代の楢木には、立派なしいたけが育っており、子どもたちが収穫して、給食でおいしく食べているそうです。今回駒打ちをしたしいたけも、元気に育ってくれるといいですね！



真剣に説明を聞く子どもたち



ドリルで穴あけに挑戦！



「どこまで入れるの？」「もうちょっとかな！」



「重ーい!!!」駒を打ち終えた楢木をお友だちと力を合わせて持ち上げます



「よいしょっ、よいしょっ!!!」楢木を設置する場所まで運びました



「大きくな〜れ！」とみんなでおまじない☆

## 森であそぼう

第2回目は、保育園に隣接するクロマツ林の探検に行きました。森の中を歩きながら、綺麗に咲いている花にも毒性を持つ種類があることや、枯れたクロマツは倒れる危険があるため伐採されていることなどをお話ししました。歩いていると、ウグイスなど様々な鳥の鳴き声が聞こえてきます。餌を求めて飛ぶアオサギの姿が見えてくると、クロマツの高木にアオサギの営巣コロニーがある場所に到着。双眼鏡や望遠鏡で観察し、アオサギと巣の中にいるヒナが見え、子どもたちはとても嬉しそうでした。「すぐ近くにいるみたい！もっと見たい！」と何度も覗き込んでいました。

そして、砂地の畑では、タヌキの足跡を発見！姿を見ることはできませんでしたが、すぐ傍で動物たちが暮らしていることを感じる事ができました。最後に、林の中で花や葉など宝物を拾い集め、それらを使って万華鏡を作りました。色とりどり、様々な模様を楽しみながら、自分だけの宝物ができました。(齋藤)



ヤマグワの実 黒くなったら食べ頃～



望遠鏡の先には…



シロダモの葉も万華鏡の材料に  
フワフワの新芽に驚き！



「僕の万華鏡見て！」どんな模様ができたかな ✨



アオサギの親子

万華鏡の中の宝物

## 朝日自然塾 きのこの植菌体験

4月26日、月山ダム・くわだいさくら公園で、『きのこの植菌体験』が開催されました。例年であれば、ちょうど月山ダム周辺の桜が見頃を迎える時期。しかし今年は、花の盛りはすでに過ぎ、代わりに強い日差しが降り注ぐ一日となりました。参加者は約40名。多くが地元の常連客で、募集は数日で定員に達するほどの盛況でした。

体験では、きのこの専門家の説明を受けた後、昨年度のチェーンソー講習会で切り倒したハンノキや森林組合から調達したナラ類の原木に、参加者自らがドリルで穴をあけ、『種駒』と呼ばれる菌の蔓延した木片を、ひとつひとつ打ち込んでいきました。

用意された種駒は、シイタケやナメコといった馴染み深いものに加え、ヒラタケ、ブナハリタケ、ムキタケ、アラゲキクラゲといった多彩な種類。普段はあまり目にする事のないきのこにも触れ、森の豊かさを身近に感じる機会となりました。(安部)



こちらのお二方は、手慣れたドリルさばきで次々とハンノキに穴を開けていました



この一角だけオオヤマザクラの花が残っていましたお花見しながら、駒打ち作業がはかどります



講師による駒打ちデモンストレーション



新緑の眩しい植菌日和でした！

## 高館山 巡視活動

花の名山として大人気の鶴岡市の高館山ですが、登山客の殆どはオオミスミソウやカタクリといったスプリング・エフェメラル目当てに、3月中旬～4月中旬頃に訪れます。私も鶴岡市民になって以来、毎年春先に集中して繰り返し登っていました。

令和6年7月に庄内・最上地域を襲った集中豪雨により、高館山登山道の“瀬ヶ沢コース”と“新奥の細道”が長らく通行止めとなっていました。どちらも今年解除されましたので、5月19日に現況を巡視しながら花や茸類などを撮影してきました。あまり登られることのない5月半ば以降の高館山にどのような花が咲いていたのか、その一部をご紹介します。

通行止めだった区間は、多少の土砂が流出した痕跡等は認められたものの、十分安全に通行できました。伐倒駆除された松くい虫被害木やイノシシが地面を掘り返した痕跡も散見されましたが、この時期にはこんな花が咲く、という新たな気付きの多い林野巡視になりました。(有本)



山頂付近で満開だったミズキ



タニウツギも見頃でした



p.2 で撮影していたササ類の花



意外と可愛いツタウルシの雄花



無斑タイプのコケイラン



お洒落な柄のサギゴケ



外来種のツルニチニチソウ



実を結んだキクバオウレン



春から生えるナラタケ類

## コラム 魅惑の野生ラン (文・撮影:有本 実)

高山植物のハクサンチドリや近所の空地に生えるネジバナなど、見つけやすいランももちろん綺麗で心惹かれますが、深い森の中をさまよっている時に突如出くわす野生ランの色彩美や形態美は、希少性も相まって私の心を大きく惑わせます。ここではこれから夏にかけて、深山で開花する野生ランを4種、ご紹介します。使い古された言い回しですが、“とっていいのは写真だけ”。見つけても決して盗らないこと！そして撮影場所がピンポイントで特定できるような情報や画像をSNSに載せることは、厳に慎んでください。山野草は山野に生えているからこそ魅惑的なのです。

フガクスズムシソウ



2020.6.21 秋田県 能代山本地方

ナツエビネ



2016.8.5 青森県 津軽地方

シヨウキラン



2018.7.6 秋田県 藤里町

オニノヤガラ



2025.7.5 山形県 鶴岡市



発行: 林野庁 東北森林管理局 朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0015 山形県鶴岡市末広町 23-37 TEL: 0235-26-1841

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/>

